



# 感 染 症 週 報



小笠原での流行状況

第15週（4月6日から4月12日まで）

父島 **インフルエンザ**の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

本土より早い？

第14週（3月30日～4月5日）

【警報・注意報】

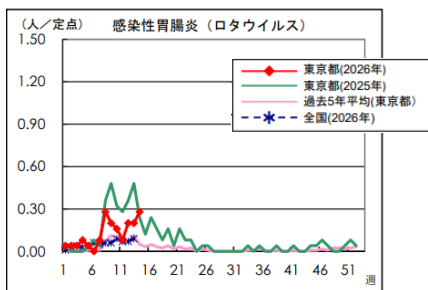
なし

【ピックアップ】

やや増加??

【ロタウイルス】

ロタウイルスは主に乳幼児に流行する感染性胃腸炎の原因ウイルスで、感染力が非常に強いのが特徴です。激しい下痢や嘔吐、発熱を起こし、重症化すると脱水に注意が必要です。手洗いの徹底やワクチン接種が予防に有効です。



## 夏に向けて増える感染症 part 1

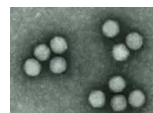
代表的な3大夏風邪(子どもに多い)

☆手足口病  
☆ヘルパンギーナ



どちらもエンテロウイルス属による感染症で、特に乳幼児に多くみられます。手や足、口内に水泡ができたり、高熱が出たりするのが特徴です。飛沫や接触でうつるため、タオルの共有は避け、こまめな手洗いが予防に有効です。

☆咽頭結膜熱  
(プール熱)



アデノウイルスが原因で、発熱、のどの痛み、目の充血などが主な症状です。学校や保育園で流行しやすく、感染力も強いので、感染が疑われたら早めの受診をお勧めします。



## 感染症メモ

**一年中手洗いは大事です！！**

夏風邪と冬風邪は、同じ「風邪」でも原因や症状に違いがあることが多いです。夏風邪は高温多湿の環境を好むアデノウイルスやコクサッキーウイルス(エンテロウイルス属)などが原因で、喉の痛みや発熱に加え、腹痛・下痢・吐き気、結膜炎、発疹といった胃腸や全身の症状が出やすいと言われています。接触感染や経口感染が多く、感染予防には手洗いが重要となります。一方、冬風邪は乾燥した寒い時期に流行し、ライノウイルスやインフルエンザウイルスなどが原因で、鼻水、咳、喉の痛み、発熱といった呼吸器症状が中心になることが多くなります。飛沫感染が主な感染経路なので、手洗いも大切ですが、乾燥対策やマスク着用も予防に有効とされています。

習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所